

マイナス162°Cの LNGを移送

都市にLNG（液化天然ガス）を届けるために
世界のLNG基地やタンカーで活躍しているエバラのクライオポンプ。
マイナス162°Cに冷却されたLNGを安全に移送することで、豊かな都市の営みを支えています。



超低温時でも安定した運転を実現

マイナス162°Cという超低温時でも安定した運転を実現するために、適切な材料選定や温度変化に対応した寸法を設定。細部にわたる構造上の工夫により、振動や熱の発生を最小限に抑制しています。ポンプ・モータをサブマージドタイプ（潜没型）とすることで、LNGの外部への漏えいを防ぎ、安全に移送することを可能としています。シンプルな構造は、メンテナンス性にも優れています。



LNG（液化天然ガス）
用のクライオポンプ

多様化する顧客ニーズに応える



性能試験設備

世界的なLNG需要の増加に伴い、流量範囲の拡大や省エネ化、高圧化など、顧客ニーズはますます多様化。将来設計を見越したプランニング要求も増加しています。長年蓄積してきた技術力とノウハウを活用した提案や、実液を使用し実証実験を行い、多様化するニーズに的確に応えています。